

各位

平成 18 年 1 月 31 日

会社名 F D K株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉本 俊春
(コード番号 6955 東証第一部)
問合せ先 財務経理部長 辻井 浩二
TEL (03)3434-1271

平成 18 年 3 月期の業績予想の修正について

平成 17 年 10 月 27 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結通期 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	119,500	3,150	950	500
今回予想(B)	118,500	1,200	△600	△3,500
増減額(B)-(A)	△1,000	△1,950	△1,550	△4,000
増減率	△0.8%	△61.9%	—	—
(ご参考)前期実績	100,441	1,542	△456	△2,713

2. 単独通期 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	61,300	1,650	400	200
今回予想(B)	57,000	△300	△1,250	△3,000
増減額(B)-(A)	△4,300	△1,950	△1,650	△3,200
増減率	△7.0%	—	—	—
(ご参考)前期実績	57,960	△341	△1,151	△3,925

3. 修正の理由

売上高につきましては、コイルデバイスやアルカリ乾電池などが予想を下回りますが、液晶ディスプレイ用信号処理モジュールなどが伸長し、全体ではほぼ前回予想を確保できる見込みです。しかしながら、損益面につきましては、売上構成の変化に伴い利益率が低下するとともに、原材料価格の高騰などの阻害要因も加わり、前回予想時において見込んでおりました原価低減が進まず、営業利益段階で大幅な減額となる見込みです。また、固定資産の減損処理にかかる費用(約 20 億円)などを特別損失として計上することといたしましたので、上記のとおり業績予想を修正いたします。

4. 再生に向けて

今後につきましては、今回の業績予想を重く受け止め、確実に利益の出せる体制にするため、グローバルに展開した生産拠点をフル活用するとともに、総力をあげて販売強化、コストダウンなどの再生へ向けた施策を展開してまいります。

詳細につきましては、別添資料「FDKの再生に向けて」をご参照願います。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。